



2025 年 11 月 19 日

各 位

会 社 名 玉井商船株式会社
代表者名 代表取締役社長 清崎 哲也
(東証スタンダード・コード 9127)
問合せ先 取締役 松本 和成
(TEL 03-5439-0260)

Sun You Ning 氏による当社の株券等を対象とする大規模買付行為等を踏まえた 当社の株券等の大規模買付行為等に関する対応方針の廃止に関するお知らせ

当社は、2025 年 7 月 14 日付け「Sun You Ning 氏による当社の株券等を対象とする大規模買付行為等を踏まえた当社の株券等の大規模買付行為等に関する対応方針の導入に関するお知らせ」（以下「本対応方針プレスリリース」といいます。）で公表いたしましたとおり、Sun You Ning 氏（以下「Sun 氏」といいます。）が当社の株式を急速かつ大量に買い集めている状況、並びに、Sun 氏が、当社株券等に係る大量保有報告書を提出している株式会社アイエスシー（以下「ISC」といいます。）並びに ISC の共同保有者である株式会社エンタープライズマリタイム（以下「エンタープライズ」といいます。）及び三豊運輸株式会社（以下「三豊運輸」といい、ISC、エンタープライズ及び三豊運輸を総称して「ISC ら」といいます。）と実質的に共同して当社株式の買付けを行っている可能性が否定できないと考えられる状況や、Sun 氏と ISC らの保有する当社株式の議決権割合（当社の総議決権数に対する保有する当社株式の数の割合をいう。以下同じ。）が合計で 15%を超えていた状況を踏まえ、同日付けで、「Sun You Ning 氏による当社の株券等を対象とする大規模買付行為等を踏まえた当社の株券等の大規模買付行為等に関する対応方針」（以下「本対応方針」といいます。）を導入いたしました。

本対応方針の導入後、当社は、Sun 氏との間で面談や書簡のやり取りを継続していたところ、2025 年 9 月 25 日に実施した Sun 氏と当社取締役による面談において、Sun 氏より、現時点で当社株式を買い増す予定はない旨の発言がありました。また、Sun 氏から受領した同年 11 月 6 日付け書簡では、「As a purely passive shareholder, I am not in a position to make a proposal to the Company regarding specific actions to be taken・・・[当社による参考訳：純粋に受動的な株主として、私は貴社に対し、特定の行動をとるよう提案する立場にはない]」と記載されており、Sun 氏が、当面の間、当社株式を買い増したり、当社に対し何らかの提案を行う具体的な蓋然性はないことを確認いたしました。また、ISC らは、2025 年 2 月 27 日頃から 7 月 9 日頃まで当社株式を急速に買い集め、同日時点の株券等保有割合を 7.17%とし

ていましたが、同月以降は、保有する当社株式を急速に売却していることを明らかにしました。

当社は、2025 年 10 月 31 日時点における Sun 氏の保有する当社株式の発行済株式総数に対する割合が 10.35%であるところ、上記のとおり Sun 氏が当面、当社株式を買い増したり、当社に対し何らかの提案を行う具体的な蓋然性はないという状況に加えて、ISC らが当社株式をほとんど全て売却した状況を受けて、現時点において現に大規模買付行為等を行っている者又は当該行為を企図する者がいるとまではいえないと考え、本対応方針の廃止を検討してまいりました。かかる検討の結果、昨日、本対応方針を廃止することは適当である旨の独立委員会の勧告を受けたことを踏まえ、本日、本対応方針を廃止することといたしましたので、お知らせいたします。

以 上